

ふるさと納税で

活力

あふれる

大崎町へ

ふるさと納税とは？

これまでの納税額

H30年度 寄附額
16億9,326万円

ふるさと納税とは、ふるさとや応援したい自治体に寄附ができる制度のことです。手続きをすると、所得税や住民税の還付・控除が受けられます。寄附金の「使い道」が指定でき、地域の特産品等のお礼の品ももらえる魅力的な仕組みです。

平成27年に約27億円のご寄附が集まり、寄附受入金額が全国4位、「町村の部」では日本一になり、大崎町の認知度が高まりました。平成30年には約17億円のご寄附をいただいています。

平成27年から4年間で全国21万人もの寄附者から、約84億円のご寄附をいただいています。

本町では、生産量日本一のうなぎをはじめ、マンゴーや黒毛和牛、黒豚など1次産品を中心に400品以上のお礼の品をご用意し、全国の寄附者様にお届けしています。

子育て 学校教育 編



大崎町立野方小学校
校長 恐田 正行 さん

野方小学校は今年度創立145年を迎えた歴史ある小学校です。児童数は67名で元気いっぱい活動しています。

そんな野方小学校はカーボン・マネジメント強化事業と大規模改造工事を実施し、校舎の全教室に冷暖房設備が設置され、木材を使用した校舎へと改修がなされました。

恐田校長先生に感想を聞くと、「全教室に冷暖房が設置され、照明もLEDになったことで、子どもたちの教育環境

が充実しました。特に冷房については、私の幼少期と比べても厳しい暑さなので健康面でも良い環境となりました。」と話されました。

大規模改修工事については、「内装に木材を利用し、木の温もりを感じられるようになりました。保護者の方々からも大変好評です。」続けて「デジタル黒板などのICT教育機器の充実により先生方も幅広い授業ができるようになりました。」と嬉しそうに話していただきました。

最後に校長先生は「教育に大事なものは環境だと考えています。そういった意味で大崎町の子どもたちはとつても幸せだと思えます。」と感謝の言葉を述べました。



未来を担う子どもを育む施策 ふるさと納税活用金額 3億7,242万4千円(46事業)



全小・中学校にエアコン・LED照明を設置

エネルギー起源CO2排出削減を目的とし、省エネ設備のエアコンとLEDの照明を町内の小・中学校の全教室に導入しました。

子どもたちのより充実した教育環境整備を進めていきます。